

日本ボーイスカウト神奈川連盟創立60周年記念

## 第12回 神奈川キャンポリー

# 救護部 業務運営要領

2009/7/10 (第2版)



# S T A F F



日本ボーイスカウト神奈川連盟

～Since1964～

## 1. 任務

### (1) 目的

「第12回神奈川キャンポリー」救護衛生部の業務目的は、第12回神奈川キャンポリー（略称：12KC）基本実施要領に基づき、大会運営に必要な救護衛生・環境衛生支援及び災害発生時支援等の任務の遂行を目的とする。

### (2) 業務

目的を達成するために、次の業務を行う。

- ① 参加者・見学者等の救護衛生に関すること。
- ② 本部救護所の開設・運営に関すること。
- ③ 本部及びSC救護所の設備・薬品等の管理・補給等に関すること。
- ④ 野営場外の病院等の医療支援施設及び衛生支援機関等との連絡・連携・調整等に関すること
- ⑤ 会場内の共有施設の消毒・害虫駆除等の環境衛生支援に関すること。（野管と）
- ⑥ 会場近隣での自然災害発生時には県連の指示のもと、支援活動を行う。
- ⑦ その他、12KCの目的に必要な任務を行う。

### (2) 基本日課

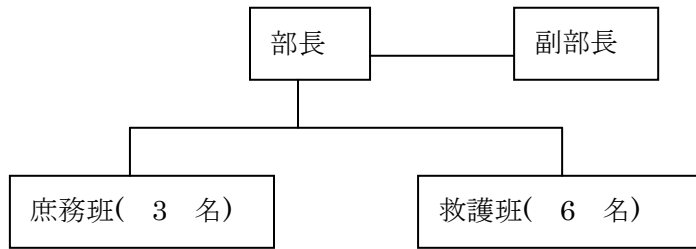
12KC基本実施要領に基づき、次の如く基本日課を定める。

日々の詳細な業務日課は別に定める。

時刻	大会行事	救護衛生業務
5:00		早朝診療・当直業務終了
5:30	炊事当番起床	全員起床・清掃点検
6:00	全員起床	環境点検
7:00	朝食	朝食
8:00	国旗掲揚・朝礼	国旗掲揚・朝礼
9:00	選択プログラム	通常業務（診療・衛生対応）・環境点検
11:00	昼食用意	
12:00	昼食・休憩	昼食・休憩（救急業務対応）・環境点検
13:00		通常業務（診療・衛生対応）
13:30	選択プログラム	15:00 環境点検
16:30	隊訪問交歓	17:00 救護報告・清掃点検
17:30	夕食	夕食
18:00	国旗降納	国旗降納・救急業務・環境点検
19:00	夜のプログラム	
21:00	班長会議	当直業務開始・環境点検・清掃点検
22:00	消灯	救護部会議
23:00		消灯

## 2. 組織および編成

### (1) 組織



- ① 班は庶務班と救護班を置く。
- ② 班員の担当部署は日々交代する。その担当日程・部署は別に定める。
- ③ 夜間は当直業務を行う。よって、本部救護所は24時間運用を原則とする。

### (2) 役務

役務	役 務 内 容
部長	部の責任者として、所掌業務を統括する。
副部長	部長を補佐し、部長不在時に代行し、安全管理を分掌。
班長	班の責任者として部長の指示に従い、班員を指導し担当業務を行う
部員	担当業務を分掌する。

## 3. 業務内容

### (1) 業務内容詳細

- ①参加者・見学者等の救護衛生に関すること。
  - 1) 参加者の健康調査票の点検及び要注意者の面接調査・健診・指導・勧告等
  - 2) 参加者の健康管理・保健指導及び救護処置
  - 3) 参加者への安全衛生指導の徹底（日射病・害虫対策・食品衛生等）
  - 4) 見学者への救護処置
- ②本部救護所の開設・運営に関すること。
  - 1) 救護所関連施設の設計・資材調達・設置・保守・管理・点検。運営
  - 2) 医師・看護師等の医療スタッフの確保と奉仕日程の調整
  - 3) 救護部員の確保と奉仕日程の調整
  - 4) 健康調査票・受診記録用紙等の諸様式の作成・配布・回収
  - 5) 諸記録の集計・分析・報告及び各種文書の授受保管
  - 6) 部会の開催
  - 7) 大会本部要員の精神衛生に関すること
- ③本部救護所の備品・薬品等の管理・補給等に関すること及びSHQへの援助。
  - 1) 本部救護所の備品・薬品等の補給・管理

- 2) 本部救護所用の氷の補給・管理
  - 3) 入院者に対する給食
  - 4) 非常時医薬品・非常食の確保・管理・補給
  - 5) SHQ 及び SC 救護所の不足薬品等の援助
- ④ 野営場外の病院等の医療支援施設及び衛生支援機関等との連絡・連携・調整等に関すること
- 1) 地元行政機関（市役所・保健所等）との連絡体制の確立
  - 2) 地元医療機関及び衛生支援機関等との連絡体制の確立（消防等を含む）
  - 3) 2次医療機関の確保及び連絡体制の確立と搬送手段の確立
  - 4) 救急車の確保及び搬送経路の確認
- ⑤ 会場内の共有施設の消毒・害虫駆除等の環境衛生支援に関すること。（野管と）
- 1) 野営管理部が行う会場内の共有施設の消毒・害虫駆除等の環境衛生作業の支援
  - 2) 食堂等での衛生管理の支援
- ⑥ 会場近隣での自然災害発生時には県連の指示のもと、支援活動を行う。
- 1) 危機管理体制の確立・運営等に協力する。
  - 1) 会場近隣で自然災害発生時には大会本部及び県連・災害支援委員会と連携して支援活動並びに救護活動等を行う
  - 2) 緊急避難場所及び避難経路の確保と緊急避難時の救護体制の確立及び参加者への周知徹底
- ⑦ その他、12KC の目的に必要な任務を行う。
- 1) 全体行事等開催時に救護部員を前線待機
  - 2) 軽度の傷病に適切な処置が施せるよう、参加者に救急用品の携行を指導

(2) 業務分掌

班名	業務内容分掌
庶務班	本部救護所及び付随施設等の開設・維持・管理・運営等に関すること 場外の病院・衛生支援機関等との連絡・調整等に関すること 会場内の環境衛生支援等に関すること ②④⑤⑥
救護班	参加者・見学者並びに大会スタッフの救護・衛生に関すること 救護所薬品等の管理・補給等に関すること ①③⑦

※業務担当表を作成し、日替わりで担当部署を交代する。

#### 4. 部員の集結および解散

部員の集結及び解散は 12KC 基本実施要領に基づき、原則として次の通りとする。

##### (1) 部員の集結日時

平成 21 年 8 月 1 日（土）午後 0 時（正午） 現地集合

##### (2) 部員の到着手続き

- ① 到着申告、健康調査票の提出
- ② 宿泊場所の割り当て
- ③ 食券の受領
- ④ 貸与品・支給品の受領

##### (3) 部員の解散日時

平成 21 年 8 月 6 日（木）午後 5 時 現地解散

##### (4) 部員の帰発手続き

- ① 貸与品の返却
- ② 帰発申告

#### 5. 安全管理とその対策

(1) 安全は全てに優先する。部員は各自の安全衛生管理に万全を期すとともに、救護部員たる誇りを持ち、安全衛生管理のエキスパートとして指導的立場にあることを自覚し、日々の業務に当たらねばならない。

(2) 部員は 12KC 基本実施要領・12KC 安全管理ハンドブック等を熟読し、野外生活及びプログラム活動における安全管理を徹底しなければならない。

特に、救護部の安全管理の特徴は、野外生活・プログラム活動における安全管理とは全く性格を異にすることを認識しなければならない。

それは、救護処置・医療行為・環境衛生支援等の業務を通じて種々の疾病等に感染する危険性が非常に高いことである。

よって、次の諸事項の周知徹底を図らねばならない。

- ① 診療行為・救急処置時は、感染予防のため医療用手袋を着用すること。
- ② 診療用器具・器材の片付け・消毒は厳重に行うこと。これは全て部長が行う。
- ③ 血・膿等の不潔物が付着したガーゼや注射器・注射針・メス等の危険な器具等の処分はキャンポリー終了後に専門業者に委託する。それまでの保管・管理は部長が行う。
- ④ 肝炎などの感染の危険性がある疾病で現在通院中の参加者・見学者の診療に際しては、十分に問診を行い、その対策を行う。
- ⑤ 環境衛生支援作業時には手袋・マスク等の着用を義務付ける。
- ⑥ 救護所内の器具・器材・備品等は全て感染しているものとみなし、むやみに救護所外に持ち出すことを禁ずる。

(3) 緊急避難時の特定任務

- ① 緊急避難時には通常業務を中止し、避難時の事故等に対する警戒体制をとる。
- ② 運営本部との連絡を密にして避難状況を把握し、避難先及び避難途中での事故等に対処し、救護活動を行う。
- ③ 避難先を巡回して所要の救護活動を行う。また、必要に応じて保健衛生指導を行う。

6. 12KC 救護部・活動要領

I. 救護活動要領

(1) 救護所と委託病院

参加者の健康管理・救護医療の万全を期するため、次の救護所及び医療施設を設置する。

- ① 中央救護所（本部救護所・GHQ 救護所）
- ② 野営区救護所（SC 救護所）
- ③ GHQ が委託する会場外の病院

【注】地区によっては SC 救護所を設置できない場合もあるので、12KC では GHQ 救護所で大会全体の救護活動を行う。

(2) 対応

① 治療の受け方

傷病者は隊長の許可を得て所属する SC 救護所において診療を受けることを原則とする。

但し、緊急を要するときは、傷病発生場所から最も近い救護所において診療を受ける。

SC 救護所を設置しない地区においては、GHQ 救護所を受診する。

2 回目以降の診療については、初診時の担当者の指示に従い患者が所属する SC 救護所または GHQ 救護所を受診する。

② 救護処置の範囲

SC 救護所では、初診担当者の判断によって、当該野営区から通って受診可能な患者を扱う。

SC 救護所で診療不可能と判断した場合は所定の手続きを経た後、GHQ 救護所へ搬送し、診療を受ける。

その手続きについては別に定める。

更に、GHQ 救護所での対応が不可能な傷病者については、GHQ 救護所担当者の判断により会場外の委託病院に搬送し、診療を受ける。

③ 医療費等

会場内の救護所での医療費は 12KC の運営費で行うので無料であるが、会場外の委託病院での医療費は受診する傷病者自身の自己負担とする。

参加者は健康保険証又はそれに相当するものを持参すること。

## II.近隣 SC・GHQ 救護所との連携要領

### (1) 近隣 SC 救護所との連携

前記救護活動要領にあるように傷病者は原則として所属する SC 救護所において診療を受けるが、緊急を要する時は傷病発生場所から最も近い SC 救護所・GHQ 救護所において診療を受ける。

更に、当該 SC 救護所では対応不可能であるが近隣 SC 救護所では対応可能で GHQ 救護所までは搬送不要な傷病者が発生した場合、薬品・資材不足や担当者不在の場合、あるいは傷病者が大量発生し当該 SC 救護所単独で対応不可能な場合などは近隣 SC 救護所の間で連携を図り、より効率的な救護活動が行えるように努める。また、救護活動以外にも近隣野営区で発生した疾病情報（例：食中毒・害虫・伝染病等）や野営生活に必要な衛生情報を交換しあう。

### (2) 場外病院との連携

SC 救護所で収容した重症傷病者で、GHQ 救護所に搬送するよりも直接場外病院に搬送する必要がある場合は、GHQ 救護所に連絡し、GHQ 救護所が地元消防等に搬送を要請する。各 SC 救護所が直接地元消防等に要請することを禁ずる。

## III.安全衛生指導要領

この 12KC を心に残る思い出とするには、事故がなく健康的で快適な野営生活を送らねばならない。

指導者は、野営生活・プログラム活動を通じて、安全指導管理・健康衛生指導管理等について常に万全の配慮をしなければならない。

参加スカウトは、ほんの少しの気の緩みが取り返しのつかない事故につながる恐れがあることを忘れず、定められたルールを厳守しなければならない。

### (1) 安全の指導管理

- ① 12KC 安全管理ハンドブックを熟読し、安全確保が習慣化するように指導・教育し、日々の安全管理を徹底する。
- ② 包丁・ナイフ・なた・斧等の刃物の使用法や格納の安全管理を徹底する。
- ③ どんな小さなことでも、安全に支障をきたす要因を見逃さず、人・物の管理だけに気を取られず、“気の緩み”に留意する。

### (2) 健康衛生の指導管理

- ① スカウトの傷病の最終責任は、隊長にあることを認識する。
- ② スカウトの健康状態は、次の調査により行う。
  - i .出発前日までの 3 週間程度の健康状態確認と検温を実施。（通院の有無等）
  - ii .出発前日までの生活状態を知る。（部活動・旅行等）
  - iii .12KC 期間中、検温と定時の健康調査を行う。（朝夕の点検時）

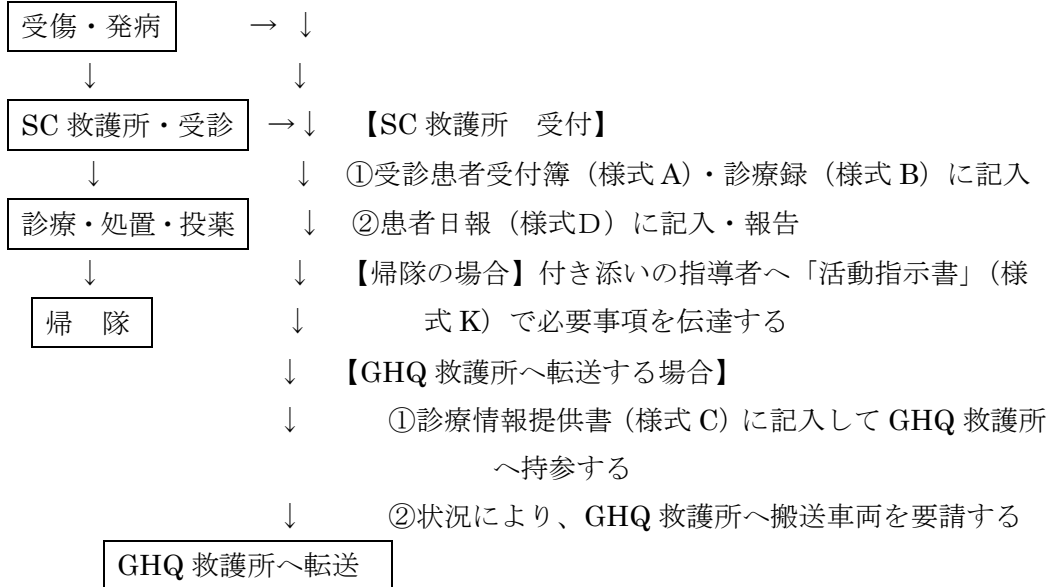
## ※新型インフルエンザ予防について

12KCでは新型インフルエンザ感染が危惧されており、参加者全員の感染予防法を確立し患者発生時の対応策を周知徹底するために、別添の「新型インフルエンザ対応マニュアル」を作成した。十分に活用願いたい。

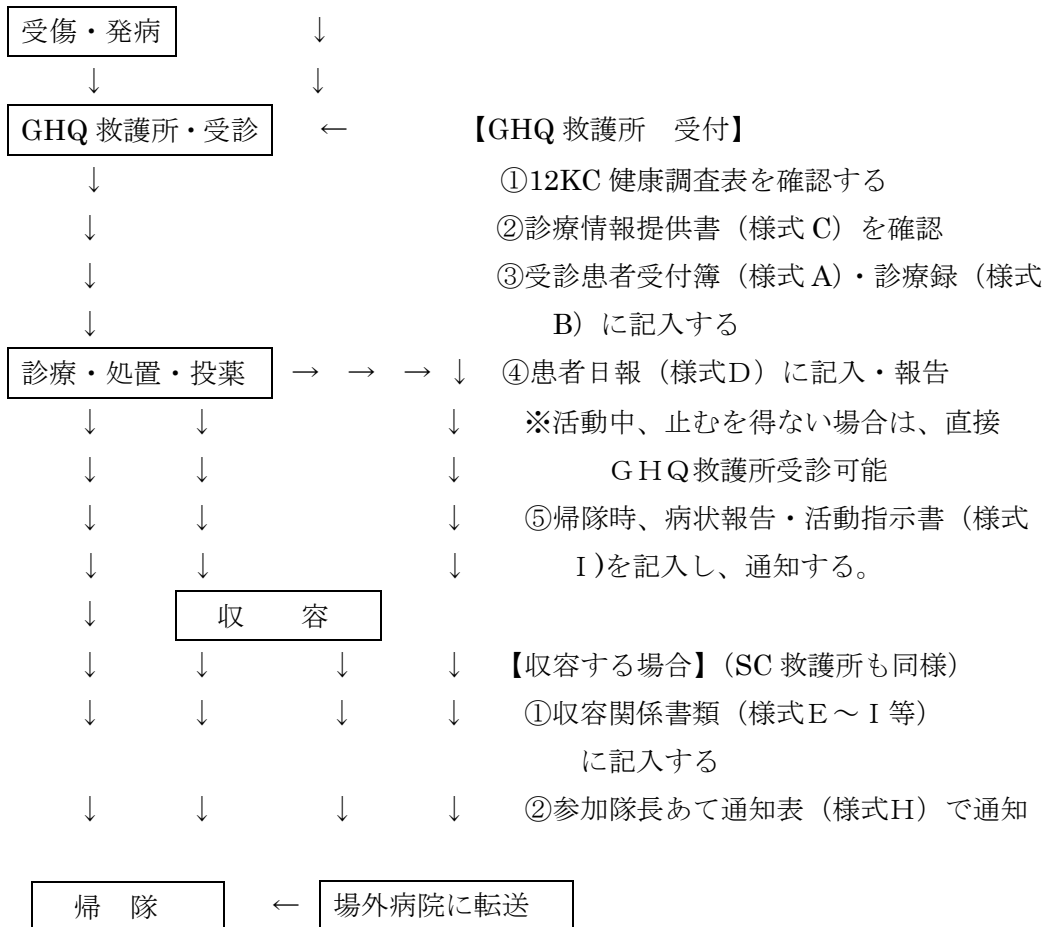
- ③ スカウトの生活習慣上の注意
  - 洗顔・水浴び・着替えの励行、特に就寝時に昼間着た衣類の更衣。
- ④ プログラム活動以外の時間帯では、生活管理に留意する。
- ⑤ 衛生管理
  - i.生水は絶対に飲まない。麦茶や湯冷まし等の飲料水を用意する。
  - ii.手洗い場の施設を完備し、手洗いを励行する。
  - iii.食料品の管理や調理者の清潔保持・健康管理に最大限注意する。
  - iv.12KC 献立の完全消化を図る。
  - v.下痢者・便秘者や体調不良者をチェックし、対策をとる。
  - vi.トイレは共同使用の場所であることを認識し、清潔使用に留意する。
  - vii.テント内外の清潔・乾燥、衣類の洗濯・清潔・乾燥を励行する。
  - viii.害虫等の駆除・処理を励行する。
  - ix.傷病発生時の報告義務。どんな小さな傷病でも報告させる。
- ⑥ 心の健康の指導
  - 隊内に“明るい話題・勇気づける話題”などを提供し、明るい雰囲気成熟に努める。

12KC・GHQ 救護所《受診から帰隊まで》

(1) SC 救護所



(2) GHQ 救護所





GHQ	SC
-----	----

様式B

**12K C ・ 診療録**

No

ふりがな		男・女	生年月日	昭和・平成	年	月	日
氏名		連絡用電話番号					
所属	野営区	地区	第	隊			
参加区分	スカウト		指導者・RS				
	1.参加隊 2.奉仕隊 ( SHQ・GHQ)		1. 隊指導者 2. SHQ要員 ( SC) 3. GHQ要員 ( 部)				
主訴			既往歴				
			特記事項				
傷病名							
転帰	隊復帰・再診指示・経過観察・GHQ救護所収容・病院搬送・帰宅・その他						
日付	診療記録 ・ 処置 ・ 処方						

様式C **12KC・診療情報提供書**

本用紙は受診者の健康管理の目的で作成するものです。  
 救護所間の連絡や場外病院への診療情報提供書として、また活動に関する注意事項や投薬に関する注意事項などを隊指導者へ伝えるためにご使用下さい。

(平成 21 年 8 月 日発行)

患者氏名		参加区分	参加隊・奉仕隊・隊指導者・SHQ・GHQ
<input type="checkbox"/> SC救護所 <input type="checkbox"/> GHQ救護所 <input type="checkbox"/> フジヤマ病院 <input type="checkbox"/>	⇒⇒⇒⇒⇒ より	<input type="checkbox"/> 引率指導者 殿 <input type="checkbox"/> SC救護所 御中 <input type="checkbox"/> GHQ救護所 御中 <input type="checkbox"/> フジヤマ病院担当医 殿 <input type="checkbox"/>	
傷病名：			
症状経過・処置・検査結果等：			
活動制限の指示等：			
上記につき情報提供を受けたことを確認しました。担当医師 _____ 指導者名 _____			

様式D 12KC・患者日報

8月 日 17時 ~ 8月 日 17時

区分	傷病名	参加隊S		奉仕隊S		SHQ指		GHQ指		見学者		合計	
		新	再	新	再	新	再	新	再	新	再	新	再
内科	感冒疾患												
	胃腸疾患												
	熱中症												
	疲労												
	便秘												
	高血圧												
	小計												
外科	創傷・切創												
	火傷・熱傷												
	打撲・捻挫												
	棘（とげ）												
	骨折												
	小計												
皮膚	湿疹かぶれ												
	日光皮膚炎												
	蕁麻疹												
	虫刺傷												
	まめ												
小計													
眼科	小計												
耳鼻	小計												
歯科													
合計	総合計												



様式F

12K C ・ 収容者記録

No

氏名		男・女	生年月日	昭・平	年	月	日生	歳
所属	野宮区	地区	第 隊	参加隊・奉仕隊・隊指導者・SHQ・GHQ				
血液型	型 ( R h )	出血傾向 ( 有 ・ 無 )		アレルギー ( 食物 ・ 薬物 ・ 他 )				
既往歴								
傷病名								
現病歴								
日付	時刻	診療記録 ( 主要症状 ・ 処置 ・ 与薬 ・ その他 )						医師名

様式G

12K C ・ 収容者温度表

(看護記録)

氏名		歳	男・女	傷病名							
月 日		6	8	10	12	14	16	18	20	22	時
R	BP	P	T								
90	200	130	42								
	190	125									
80	180	120	41								
	170	115									
70	160	110	40								
	150	105									
60	140	100	39								
	130	95									
50	120	90	38								
	110	85									
40	100	80	37								
	90	75									
30	80	70	36								
	70	65									
20	60	60	35								
	50	55									
10	40	50	34								
	30	45									
0	20	40	33								
○	∨∧	△	▲								
食事											
尿便											
処置											
投薬											
観察											

様式H

## 所属隊長への通知票

所属隊長 殿

平成21年8月 日 時 分

12KC・GHQ救護所（記入者） \_\_\_\_\_

貴隊所属の \_\_\_\_\_ 様につきまして、GHQ救護所で次のように対処致しましたので、至急対応いただきますようお願い申し上げます。

### GHQ救護所に収容しました。

理由：

隊長への依頼事項：大至急、本人の着替え（寝間着を含む）・食事・飲料水・

その他（ \_\_\_\_\_ ）をGHQ救護所へご持参下さい

GHQ救護所の医師の指示に従って下さい。

その他（ \_\_\_\_\_ ）

### 会場外の病院へ転送しました。

理由：

転送先病院名： \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_

隊長への依頼事項：大至急、本人の着替え（寝間着を含む）等をGHQ救護所へ持参し、指示を受けて下さい。

その旨を野営区長・救護担当者等にお伝え下さい。

以上

様式 I

## 病状報告・活動指示書

所属隊長 殿

平成 21 年 8 月 日 時 分

12KC・GHQ救護所（記入者） \_\_\_\_\_

貴隊所属の \_\_\_\_\_ 様が帰隊することになりました。  
下記事項につきまして、ご配慮くださいますようお願い申し上げます。

### 記

#### (1) 帰隊時の病状について

---

---

---

#### (2) 帰隊後の活動について

- すぐに活動しても良い。
- GHQ救護所で指示された期間の後、活動してもよい。（8月 日 から）
- 数回、GHQ救護所を受診し、許可を受けた後、活動してもよい。
- その他

---

---

以上

8月 日 ( ・ ) 12KC・GHQ救護部・業務表(原案)

業務分担

部長：中島敏之

副部長：折本博文

業務	氏名 (当直：中島敏之・折本博文)
庶務班	班長：井上晃二・藤田麻里衣・吉原京子
救護班	班長：村山章裕・戸金隆三・石渡大輔・鈴木幸一・田所愛子・糠信美穂

天候記録(記録：庶務班)

時刻	6時	9時	12時	15時	18時	21時	備考
天気							
気温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	
湿度	%	%	%	%	%	%	

業務内容

時刻	大会行事	救護業務	各種会議	特記事項
5:00		早朝診療・当直業務終了		
5:30	炊事係起床	全員起床・清掃点検		
6:00	全員起床	環境点検		
7:00	朝食	朝食		
8:00	国旗掲揚・朝礼	国旗掲揚・朝礼		
9:00	選択プログラム	通常業務・環境探検		
10:00				
11:00	昼食・休憩			
12:00		昼食・休憩・救急業務・環境点検		
13:00		通常業務		
13:30	選択プログラム			
14:00				
15:00		環境点検		
16:30	隊訪問交歓			
17:00		通常業務終了・救急業務・救護報告		
17:30	夕食	夕食		
18:00	国旗降納	国旗降納・環境点検		
19:00	夜のプログラム			
20:00				
21:00	班長会議	当直業務開始・清掃点検・環境点検		
22:00	消灯	救護部会議	救護部会議	
23:00		消灯		

12KC 救護部 医療器具・器材 (全てを中島歯科医院が貸与)

No	品名	形態	数量	No	品名	形態	数量
1	オートクレーブ		1	34	指甲		1
2	カースト		3	35	聴診器		3
3	血圧計		3	36	駆血帯		2
4	体温計		3	37	注射枕		1
5	電子体温計		1	38	麦粒鉗子		1
6	AED		1	39	救急処置セット		1
7	酸素吸入セット		1	40	歯科往診セット		1
8	車椅子		1	41	クーラーボックス		1
9	ワッテ缶		4	42	担架 (ストレッチャー)		1
10	膿盆	大小	2	43	点滴台		1
11	体重計		1	44	鉗子立		2
12	歯科用ゾンデ		2	45	毛布 (県連より)		30
13	涙腺ブジー (セット)		1	46	ベッド (県連より)		15
14	粘膜剥離子		2	47	机 (レンタル)		10
15	骨膜剥離子		2	48	パイプ椅子 (レンタル)		10
16	有鉤ピンセット	小	2	49	温度計・湿度計		1
17	無鉤ピンセット	小	2	50	医療用廃棄物容器		1
18	銃槍状ピンセット		2	51	歯科用治療椅子		1
19	2爪フック		2	52	冷蔵庫 (レンタル)		1
20	扁平鉤		2	53	携帯キッチンセット		1
21	ペアン		2	54	携帯テーブル		2
22	ピンセット	大小	10	55	手洗いブラシ		2
23	バイトブロック		2	56	ヘッドライト		2
24	開口器		2	57	ポイズンリムーバー		1
25	モスキート (曲)		3	58	爪きり		2
26	モスキート (直)		3	59	雑用ハサミ		2
27	コッヘル		2	60	毛抜き		2
28	持針器	大小	4	61			
29	歯肉ハサミ		3	62			
30	抜糸ハサミ		3	63			
31	外科用剪刀		2	64			
32	グレーフェ		1	65			
33	メスホルダー		3	66			

## 12KC 救護部 医療資材

No	品名	形態	数量	No	品名	形態	数量
1	点滴輸液セット		20	34	滅菌 3Mテープ	箱	1
2	縫合糸 (5・0 ナイロン)	針付	20	35	3 Mテープ	箱	1
3	縫合糸 (5・0 テトロン)	針付	20	36	カテラン針		5
4	縫合糸 (絹糸)	針付	20	37	エラストー針		10
5	手術用ゴム手袋 (7.0)		10	38	紙コップ		200
6	手術用ゴム手袋 (7.5)		10	39	タオル		20
7	ディスポ手袋	箱	2	40	三角巾		5
8	ディスポ注射器(1ml)		10	41	滅菌用袋 (大中小)	箱	各 1
9	ディスポ注射器(3ml)		10	42	滅菌用袋テープ	巻	1
10	ディスポ注射器(5ml)		10	43	滅菌ガーゼ (ケーパイン)	箱	1
11	ディスポ注射器(10ml)		10	44	コールドスプレー		3
12	ディスポ注射器(20ml)		10	45	ホカロン		10
13	ディスポ注射針(21G)		20	46	アイスノン		20
14	ディスポ注射針(18G)		20	47	手洗い石鹸		3
15	ディスポ注射針(翼状針)		20	48	消毒用固形石鹸		3
16	布絆創膏	巻	5	49	消毒用液体石鹸		2
17	紙絆創膏	巻	5	50	スキナクレン		10
18	伸縮包帯 (4 裂)		10	51	スキンナップ		100
19	伸縮包帯 (6 裂)		10	52	洗濯用洗剤		1
20	メス替え刃(No11)		10	53	台所洗剤		1
21	メス替え刃(No12)		10	54	清掃用手袋		2
22	メス替え刃(No15)		10	55	清掃用具一式		1
23	レテラタイ(大)	箱	1	56	ウエットティッシュ	箱	3
24	レテラタイ (中)	箱	1	57			
25	レテラタイ (小)	箱	1	58			
26	バンドエイド (各種)	箱	3	59			
27	綿棒	箱	2	60			
28	ティッシュペーパー	箱	5	61			
29	トイレットペーパー	本	10	62			
30	クッキングペーパー	本	5	63			
31	治療用マスク	箱	3	64			
32	氷嚢		2	65			
33	眼帯		3	66			

## 12K C 救護部 医薬品

### ① 注射薬

効 能	薬 品 名	最小包装	準備数量
1.局所麻酔薬	2%キシロカインE	20ml・V	1V
	歯科用キシロカイン	1.8ml・50ct	50ct
2.緊急薬	ソローテフ 500・250	5V	5V
	ボスミン	1ml・20A	20A
	プロタノールL	5ml・10A	10A
	アタラックスP	1ml・10A	10A
	テラプチク	3ml・30A	30A
3.抗生物質	セファメジン・1g	1g・10V	10V
4.鎮痙薬	ブスコパン	1ml・10A	10A
5. 解熱薬	メチロン	2ml・50A	50A
6. 抗アレルギー薬	強力ミノファージェンC	5ml・5A	5A
7.輸液薬	ソルラクト	500ml・20V	20V
	ソルデム1	200ml・20V	20V
	生理食塩水	500ml・20V	20V

### ②内服薬

効能	薬 品 名	最小包装	準備数量
1.抗生物質	サワシリン Cap	250mg・100Cap	500Cap
	トミロン 錠	100mg・100錠	300錠
	サワシリン 細粒	1g・100P	100P
2.鎮痛解熱消炎剤	ロキソニン	60mg・100錠	500錠
	ボルタレン	25mg・500錠	500錠
	ブルフェン顆粒	1g・120P	210P
3. 鎮痙剤	ブスコパン錠	100錠	100錠
4.健胃消化剤	SM散	1g・1200P	300P
5. 抗アレルギー剤	ポララミン	6mg・100錠	100錠
6.穏和精神安定剤	セルシン	2mg・100錠	100錠
7.降圧剤	インデラル	10mg・120錠	120錠

③外用薬

効能	薬品名	最小包装	準備数量
1.消毒薬	消毒用エタノール	500ml・本	5本
	無水エタノール	500ml・本	2本
	ヒビテン	500ml・本	3本
	ピューラックス	600ml・本	1本
	ハイアミン	1000ml・本	1本
	ハイポアルコール	500ml・本	1本
	イソジン	250ml・本	1本
	サイデックスプラス	4.7L・本	1本
	ウエルパス	500ml・本	10本
2.軟膏薬	ゲンタシン軟膏	10g・10本	10本
	フロリードD軟膏	10g・10本	10本
	リンデロンVG軟膏	5g・10本	10本
	ソフラチュール	10枚	30枚
3.点眼薬	タリビット	5ml・10本	10本
4.鎮痛解熱薬	ボルタレン座薬	50mg・50本	50本
5.表面麻酔薬	キシロカインスプレー	80g・本	2本
	キシロカインゼリー	30ml・5本	5本
	キシロカイン軟膏	5g・本	5本
6.含嗽薬	イソジン・ガーグル	30ml・本	10本
	アズノール	10ml・本	10本
7.その他	精製水	500ml・本	5本
	殺虫剤（蚊・ハエ用）		3本
	殺虫剤（ハチ用）		5本
	蚊取り線香		1缶